

# 山 口 新 聞

平成 26 年 9 月 19 日 (金)

NO.121

会員の皆さん



コスモスの植え付け作業



## 農地・水・環境 守ろう地域の手で

(121)

棚田で整形されたほ場が少なく、あわせてシカやイノシシの被害が増え、作付けが大変苦慮している。

すでに中山間地域等直接

2007年度に農地・水・環境保全の制度を導入し当会を発足した。整備後20年を経過している水路、農道、ため池など

下関市豊浦町の湯玉地域は、響灘に面し、JR山陰本線湯玉駅を眼下に見下ろす丘陵地帯にある。集落内85世帯のうち、15世帯が兼業農家で、専業農家はわずか1世帯。高齢化により農家の後継者不足が深刻な課題となっている。

1994年度にほ場整備事業が完成した農地、未整備田を含む約17畝では、主に水稲が栽培されている。

支払制度に取り組んでいたが、非農業者と共同で生活環境の向上を図り農業への関心を深めてもらおうと、

農業施設の維持補修管理や景観保全に、会員が積極的に参加。アシサイ、コスモスや菜の花を見ながらのウォーキングで景観を楽しむ姿が見受けられ、地域住民の連帯が深まるようになった。

### 湯玉地域農地・水・環境保全会 (下関市)

## 景観保全、地域住民に連帯感

今後も保全活動を通して地域の環境を守っていききたい。

(副会長、打田政歳)

— 金曜日掲載 —

【コスモ】会長—藤永愼  
 ▽会員—85人、農家(16戸)、営農組合、農事組合、自治会、土地改良区  
 ▽設立—2007年4月29日  
 ▽連絡先—下関市豊浦町宇賀7695の1、藤永愼さん ☎0833・776・0702